

## ◎点検・評価運営委員会

校長 水野 豊

### ○ 実施状況とその成果

#### 1. 基本方針

「進化する FD」を目指し、点検内容・方法の改善を加え、評価活動を充実する。また、点検・評価した結果（資料）のフィードバック法を確立するとともに、公開・保存法の学内一元化を図る。

#### 2. 平成16年度実施計画

##### 1 点検・評価

##### [1] 授業、勉学アンケートの実施

アンケート結果の集計法（分析法）を確立し、各授業における経年変化が見れるようにする。

- ・授業アンケートについては、アンケート結果と科目担当者による分析、コメント、改善のための取組みを同一ページに掲載した。また、本科の科目に関しては、前年度の結果も示すことにより、経年変化も見れるようにした。

##### [2] 保護者アンケート

平成15年度実施したアンケート結果に基づき、各分門に対して改善事項を提供する。

- ・点検報告書（平成15年度版）にまとめた。1～3章に本文を、4章にデータを取り纏めた構成とした。

##### [3] 教官アンケート

平成15年度実施した授業改善アンケート結果に基づき、改善事項を提供する。

- ・点検報告書（平成15年度版）にまとめた。

##### [4] 各種委員会アンケートの実施

教務委員会、学生委員会、寮務委員会、専攻科教育委員会等に、アンケートの実施、分析を依頼する。

- ・上記アンケートの他、新入生アンケート、学生生活およびアルバイトアンケート、保護者アンケート、卒業生アンケート、企業アンケート、教職員環境意識アンケートについても結果を取り纏めた。また、学生による担任アンケートも実施した。

##### [5] アンケートの実施間隔・時期の見直し

上記、各種アンケートの実施間隔、時期、対象などの見直しを行う。

- ・授業アンケートについては、実施科目数（2科目/教員）とすることも検討したが、上述のように本年度から経年変化が見れるようにしたばかりであるので、本年度も全科目について実施することとした。ただし、各科目の実施時期が集中するのを避けるために、実施期間を一ヶ月程度設けた。

#### [6] 事務部の点検

教職員・学生によるアンケートの実施を中心とした点検・評価による業務改善の実施を行う。

- ・学校運営目標の実施状況と成果（事務部）として取り纏めた。

#### [7] 各部門の取り組み状況の取り纏め

各部門の年度運営目標、教育改善推進計画に対する実施状況と結果およびその評価を取り纏める。

- ・来年度の目標・計画を立てるために、3月中に取り纏める予定である。

#### [8] 点検報告書の構成の見直し

アンケート結果とその結果に対する改善内容・コメント・評価などを同時に示すことにより、報告書の有効な活用ができる構成にする。

- ・授業アンケートについては、上記[1]に示した通りである。また、点検報告書については、1～3章に本文を、4章にデータを取り纏めた構成とした。

#### [9] 外部評価の実施方法の見直し

平成14年度は学校全体の外部評価を実施し、平成15年度は各学科ごとに実施した。今後、どのような形態の外部評価をどのような時期（間隔）で実施するかを検討する。

- ・運営諮問会議（3月11日（金））として実施した。
- ・JABEEについては、「生産工学プログラム」、「電子工学プログラム」が平成17年度に受審予定である。

#### [10] 中期計画の進捗状況の把握と各部門に対する提言

中期計画の進捗状況を調査し、進んでいない事項に関して、各部門に推進を依頼する。

- ・部分的に実施できているものもあるが、全体的な把握はできていない。年度計画としての見直しが必要である。

[11] 各種アンケートの分析結果のフィードバック

アンケート分析から問題点を抽出し、関係部門や個人に対して提言や改善依頼を行う。

- ・点検報告書として取り纏めたのみであり、問題点の抽出や個人に対する提言はできていない。

[12] 点検評価の基礎となる教育研究情報の収集・整理・蓄積

学校改革推進室と連携して、教育研究情報や点検評価結果のデータベース化を推進する。

- ・機関別認証評価に基づいた評価項目で纏めていくという方向は決めたが、具体的なデータベース化はまだである。早急な対応が必要である。

○ 総括的な評価と課題

1. 点検報告書の構成の改善はある程度できたが、報告書の内容についての検討や問題点の抽出を行い、改善法の提案や個人に対する提言を含めたフィードバックが必要である。
2. 本年度は評価企画部会がほとんど活動していない状況である。機関別認証評価の評価項目に基づいた自己点検報告書の構成について検討し、そのためのデータベース作りの方針を決定することが必要である。
3. 中期計画の進捗状況については、早期に調査、確認し、17年度取り組むべき事項を抽出し、各部門に推進を依頼することが必要である。